

目加田誠旧蔵一九三四年大学講義プリント : (五) 孫人和篇

陳, 禕璇
九州大学大学院人文科学府 : 修士課程

<https://doi.org/10.15017/4363585>

出版情報 : 中国文学論集. 49, pp.162-188, 2020-12-25. The Chinese Literature Association, Kyushu University
バージョン :
権利関係 :

目加田誠旧蔵一九三四年大学講義プリント

——(五) 孫人和篇

陳 禕 璇

孫人和(一八九四—一九六六)は、字は蜀丞、江蘇省塩城の人。北京大学文学系の卒業で、主に文献学と詞学を研究した。倉石武四郎(一八九七—一九七五)の留学中、彼を一時自宅に寄寓させたことでも知られる。大学卒業後の略年譜を示せば以下のとおりである。

- 一九二〇年頃 北京で同好の士と「思弁社」を設立。
- 一九二九年 中国大学教授就任、北平師範大学(現在の北京師範大学)、女子師範大学の講師を兼任。
- 一九四一年 中国大学国文学部主任、輔仁大学名誉教授、北京古学院文学研究会研究員。
- 一九四七年 上海大学文学学院院长、暨南大学文学学院院长を兼任。
- 一九四九年 中華書局顧問、中国中央文史研究館館員。

大学の授業では古代文学と詞の分野を受け持ち、「詞学通論」「詞選及び習作」の題目で講義を行なった。輔仁大学では一九四三年より「詞と詞史」、「莊子研究」、「離騷」、「左伝研究」、「周秦諸子研究」を、一九四四年には「蔡中郎集研究」「漢魏諸子研究」を講義したとの記録が残っている。これらの講義資料をもとに『詞選』『宋詞選注』『唐宋詞選』(輔仁大学中国大学連合出版、一九四六年)などを刊行した。

孫人和の講義は生き生きしたものであったという。受講生の一人陳鎮は「授業はいつも喜々とした表情で、朗々

たる美声で柳永、辛棄疾などの名作を朗誦した。抑揚がありテンポもよく、また身振り手振りを交えての様子、教室の全生徒を酔いしれさせた」と回想している。^②しかし目加田誠が傍聴した初日の『北平日記』（一九三四年十月五日）には「八時より十時迄、孫人和氏「詞学及詞選」。孫氏（塩城人）の言葉は元より難解の定評あり。而もかほど迄とは思はざりしが、講義をきゝて（プリントなし）熟知の人名、書名、其他のことは殆どきゝとれず、悲観せり」とあり、この日はまだ講義プリントを手に入れてなかつたために、相当困惑したようである。

目加田誠旧蔵プリントは標題を「詞学通論」とし、詞の基本知識とその発展史、及び唐五代から宋までの各時代の代表作品とその講評を概論的に紹介する内容である。「詞の起源」「詞の体制」「音律論」「填詞法」「唐五代兩宋名家詞」の五章構成となっている。

当時、孫人和は『統修四庫全書総目提要』の編纂事業に参加している。執筆を担当した箇所は四部すべてにわたるが、経部五十五条、史部一条、子部四百八条、集部五百二十八条の合計九百十二条に及び、特に清代詞人に関しては三百条余りにも及ぶ。^④彼の詞学に関する主な業績としては、先に示した講義テキストの刊行のほか、『詞瀋』（『輔人文苑』刊本第一、二、三、六輯）、『陽春集校訂』（趙氏星鳳閣抄本）、『校訂花外集』（中華書局、一九三三年）などの校訂がある。また、詞学以外の著作として『論衡拳正』（広文書局、一九二四年）、『抱朴子校輔』（一九二七年）、『呂氏春秋拳正』（一九三九年）などがある。

趣味は古籍と書画の収集で、収藏品には貴重なものもかなり多かつたという。稀覯本を入手すると必ず周囲に自慢し、友人にも快く貸し出していた。しかし晩年にその大半は失われてしまった。^⑦

注

(1) 「輔仁大学大学院中国文学系課程表及課程説明」（『磐石雑誌』一九三三年第二期、北平輔仁大学中華公教青年会磐石雑誌社）、二七頁。

(2) 陳鎮『北平輔大生活回憶』（南京出版社、一九八二年）五九頁。原文は以下の通り。「其講課時、總是眉飛色舞、唱目加田誠旧蔵一九三四年大学講義プリント（五）孫人和篇

做俱佳。嘗講到柳永、辛棄疾等人的佳作時、抑揚頓挫的歌聲、手舞足蹈的姿態、引得全堂學生如醉如癡。」

- (3) 九州大学中国文学会『目加田誠「北平日記」——一九三〇年代北京の學術交流』(中国書店、二〇一九年)、一八七頁。日記には講義題目を「詞学及詞選」と記し、講義プリントの標題と一致しない。しかし、「詞学通論」のプリントには多くの書込みがあり、この講義を傍聴したことが確認できる。

- (4) 方慧勤「孫人和清詞研究——以『続修四庫全書総目提要』为中心」(『集美大学学報』第十八卷第四期、二〇一五年十月)、その九五〜九九頁。

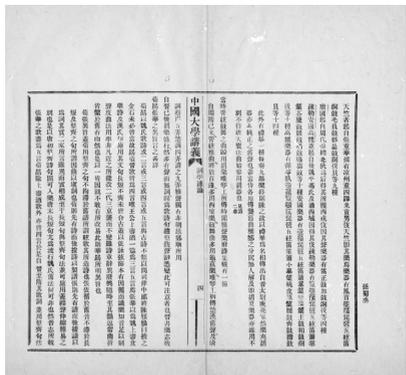
- (5) 和希林「孫人和詞学活動及文献考述」(『南陽師範学院学報』第十九卷第二期、二〇二〇年三月)、三六〜四二頁。

- (6) 陳水雲「孫人和先生詞学研究業績平議」(『詞学』二〇一三年第二期、華東師範大学出版社)、三一〜三二六頁。なお陳氏の論文によれば孫人和には他に『華陽国志考』『人物志学正』『韓非子学正』『左漫記』などの著作があったとのことであるが、いずれも書誌情報等未詳。

- (7) 劉葉秋「憶孫蜀丞先生」(『学林漫録』第十集、中華書局、一九八五年)、四〇頁。

【付録】講義プリント全書影
(5) 孫人和「詞学通論」

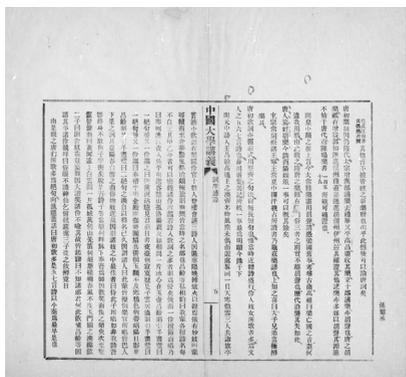
目加田誠旧蔵一九三四年大学講義プリント (五) 孫人和篇



4



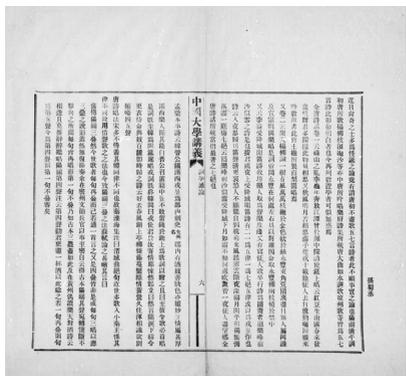
1



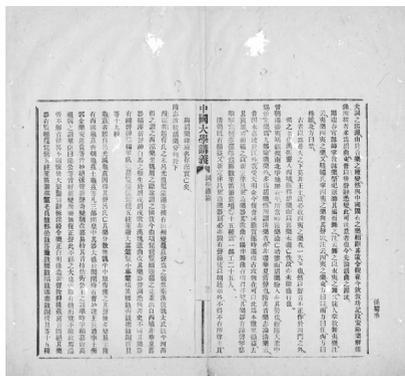
5



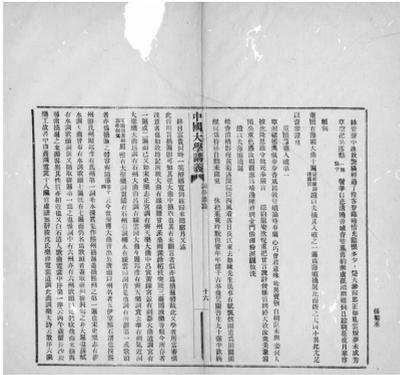
2



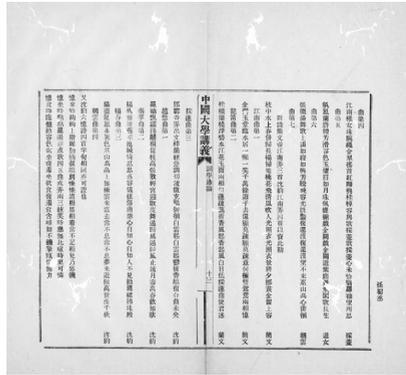
6



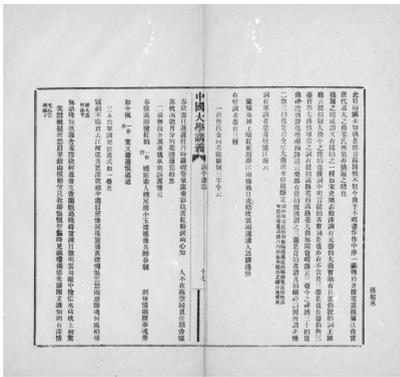
3



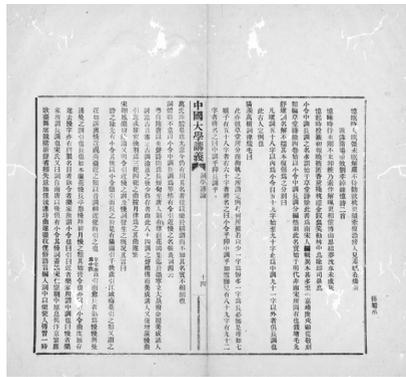
16



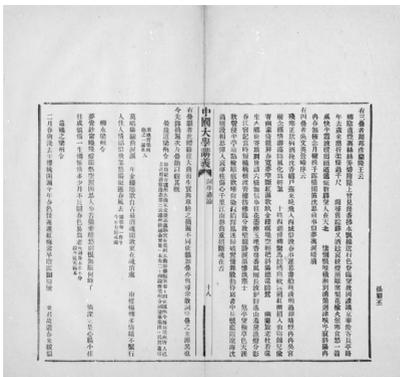
13



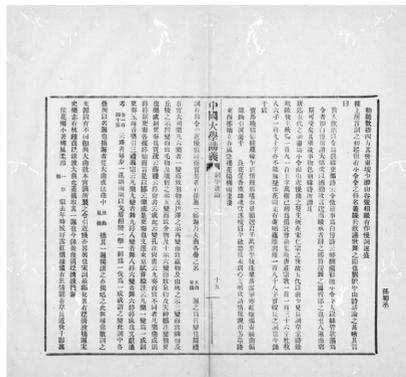
17



14



18



15

會大國以科學之精神，而治其文學，其理固非易也。

文學之研究，其目的在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。

中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

19

文學之研究，其目的在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。

中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

22

文學之研究，其目的在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。

中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

20

文學之研究，其目的在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。

中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

23

文學之研究，其目的在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。

中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

21

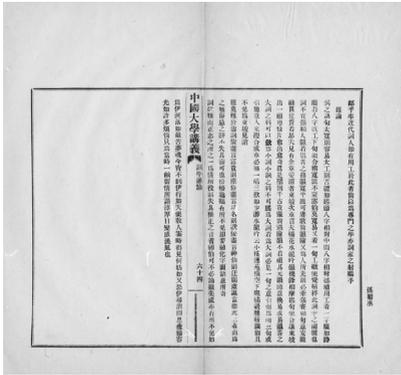
文學之研究，其目的在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。文學之研究，其方法在求其所以為文學之原因，及其所以為文學之結果。

中國大學叢書 文學部 第一一六號

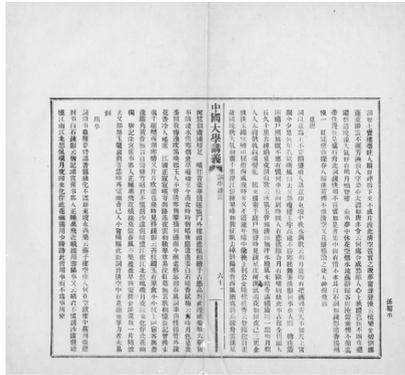
中國大學叢書 文學部 第一一六號

中國大學叢書 文學部 第一一六號

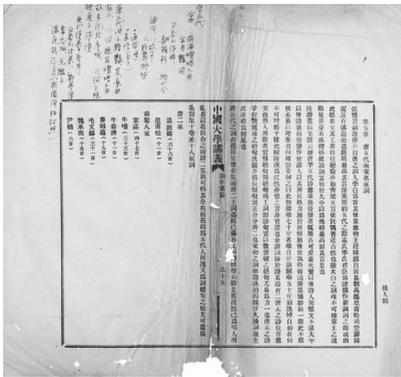
24



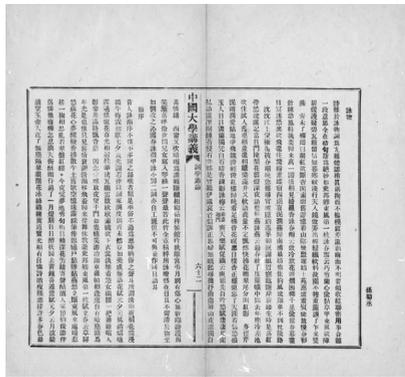
64



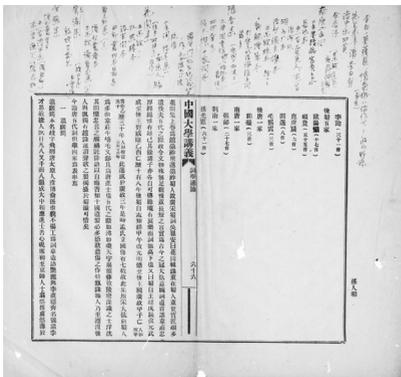
61



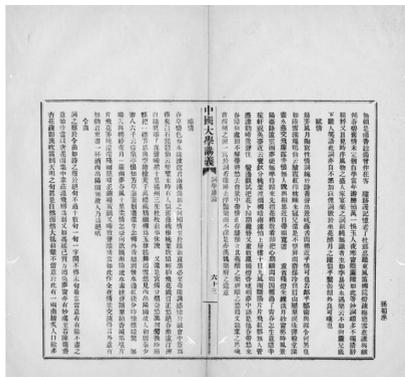
65



62

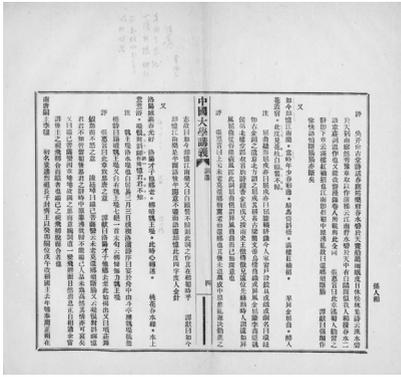


66

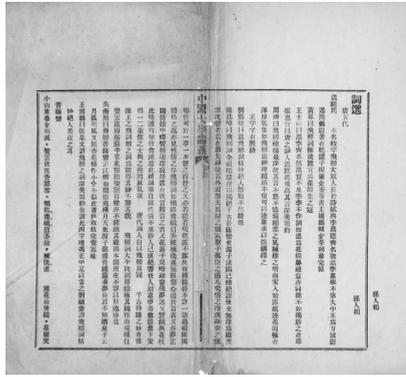


63

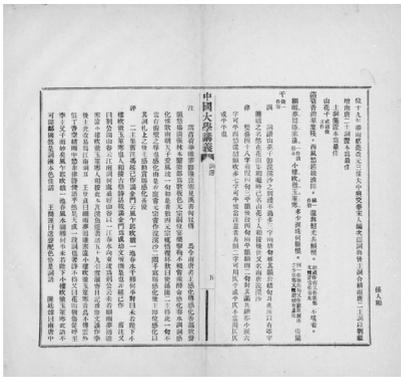
(6) 孫人和「詞選」



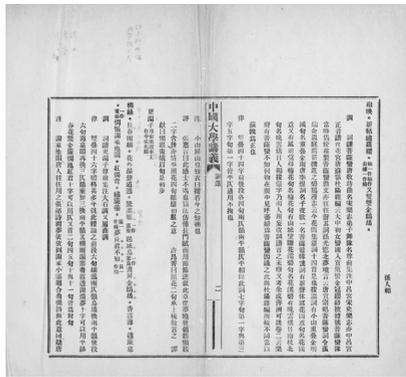
4



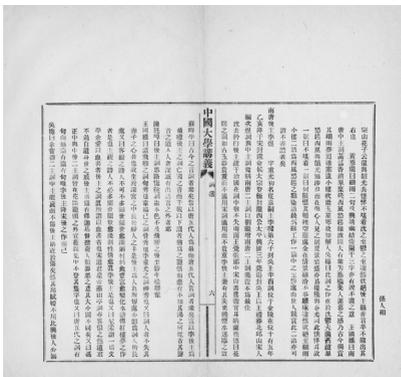
1



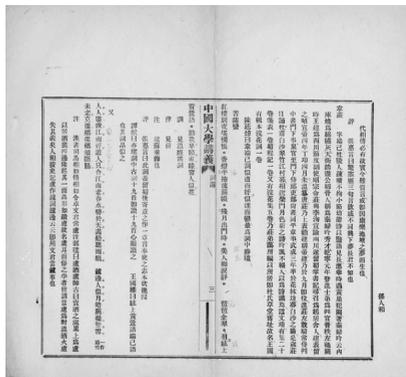
5



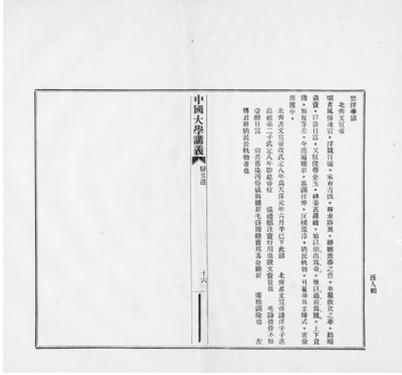
2



6



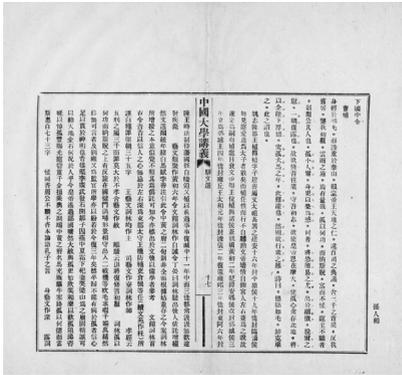
3



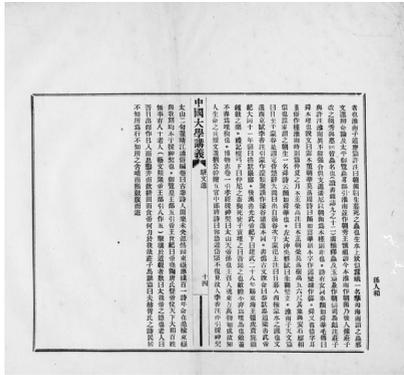
16



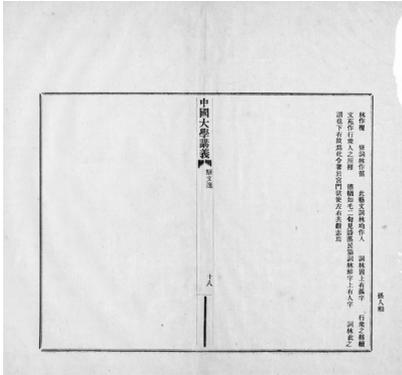
13



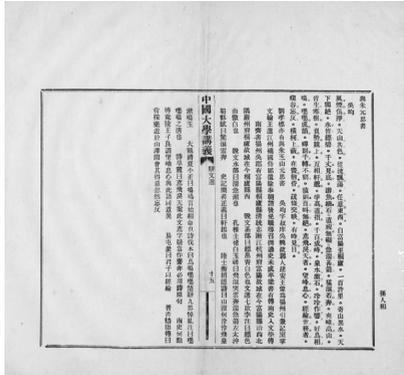
17



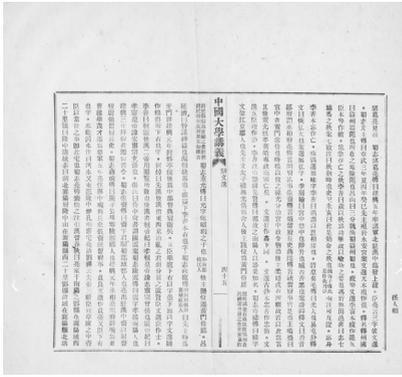
14



18



15



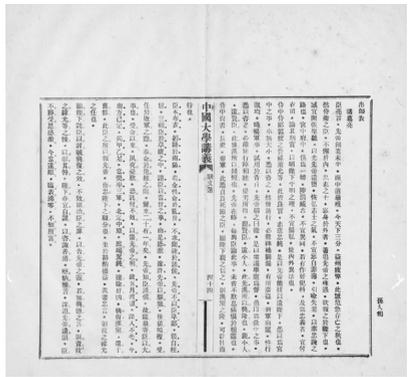
45



43



46



44